

関東地方支部から東京都へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ
離島航路や水上バスの現状を説明

3月6日、関東地方支部は東京都に対し海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを行った。申し入れは、増子博樹東京都議会議員（組合政治参与）と渡辺専太郎組合政治参与（元港区議会議員）のご協力の下、高宮成昭関東地方支部長と大滝恒関東地方支部長代行、菅野直樹関東地方支部次長が東京都庁を訪れ、東京都港湾局の野平雄一郎港湾経営部長、浅田雄也港湾経営課長、瀧山多門経営課長代理にご対応いただいた。

申し入れでは、はじめに高宮関東地方支部長から申し入れ文書を手交し、申し入れ内容を説明した。また、大滝関東地方支部長代行から、離島航路や公益財団法人東京都公園協会が運航する水上バスの現状を説明し、支援の継続や、航路存続に資する実効ある施策の必要性を説いた。

野平港湾経営部長からは、日頃の東京都港湾局への理解、協力に感謝するとともに、海洋立国日本において海上輸送を支える船員と本組合に対し謝意が示された。

申し入れに対し、東京都側からは、港湾管理者としてできることを検討していきたいと考えるが、他部局にもわたる内容なのでしっかり共有し、今後、東京都側から海員組合へ諸課題に対する協力を依頼した時は協力願うとの考え方が示され、申し入れを終了した。また、増子博樹組合政治参与と渡辺専太郎組合政治参与と意見交換を行い、これからも連携を密にして取り組んでいくこととした。

「海員だより」